

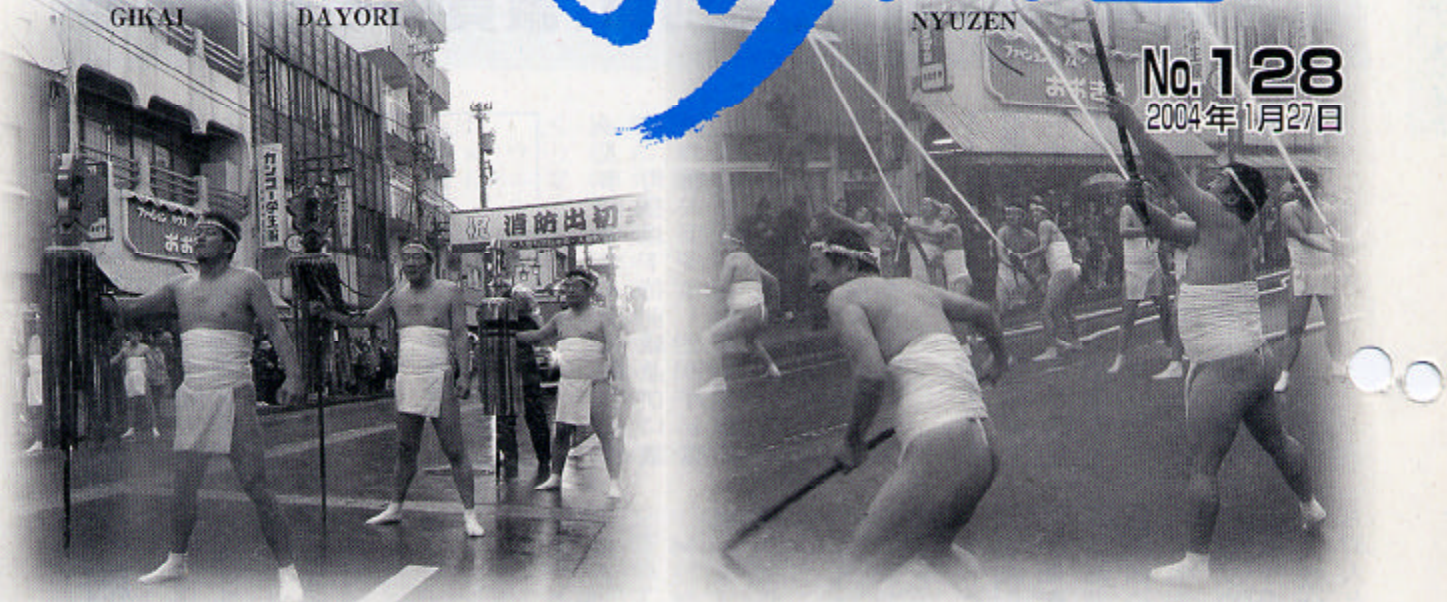
# 議会だより入善

GHKAI

DAYORI

NYUZEN

No. 128  
2004年1月27日



すご〜い。寒くないのかな

12月定例会

給与、手当など人件費を引き下げ

補正予算 2P

入善地区公民館の建設を求める

請願・陳情 3P

合併凍結の理由は？

常任・特別委員会 4P

町政を問う 代表・一般質問 (11議員)

7P

シリーズ海洋深層水 (ウェルネス施設)

19P

「今はここがふるさと」入善町に移り住んで

20P

# 給与、手当など人件費を 引き下げ

## 職員給与は5年連続、特別職、議員の手当も減額

### 12月補正予算の概要

今回の補正予算では、人事院のマイナス勧告に伴い、特別職、議員の手当及び職員の給与、手当を減額した。そのほか、市街地整備構想策定業務委託料、スポーツ交流広場敷地整備費を計上し、請願・陳情による要望箇所の整備を促進するため、町道整備推進費を増額した。

これら一般会計の補正額は1億4148万円で、総額は100億2139万円となった。

職員給与など引き下げ

4237万円

人事院のマイナス勧告に伴い、町長以下特別職並びに議員の期末手当0・2カ月と職員の基本給1・1%及び期末手当0・25カ月を引き下げた。これにより職員給与は5年連続、過去最大の引き下げとなった。

市街地整備構想策定に

200万円

中心市街地の交流とうるおい環境整備を目的に、武村福祉会館周辺及び中央公民館跡地を活用した市街地整備構想を策定する。



市街地の町有地有効活用が期待される

広域保育所入所に

1100万円

町外へ勤務する方の利便を図るため、勤務地の保育所に入所を委託する。

人数は当初見込みの23人から37人となった。

スポーツ交流広場整備に

750万円

旧上原小学校跡地をベタンスポーツ交流広場として整備する。面積は1450㎡。

道路改良や舗装などに

5000万円

請願、陳情など、寄せられている多くの要望により早く対応するため、必要性、緊急性を考慮しながら整備する。

今回の補正では、下山・島バス停線改良ほか4路線の町道の改良、舗装をする。

下水道管きよ延長に

1億1300万円

国の補正に伴い、公共下水道1500m、農業集落排水200mの管きよ延長工事を実施する。

これにより早期の利用拡大を図る。

採択した請願・陳情

入善地区公民館建設に関する請願書

請願者 入善地区区長会長ほか

入善地区公民館の建設を求め、賛成全員で採択した。

八幡地区杉本彦蔵様宅前く沢田忠雄様宅間の町道北側拡幅に関する請願

請願者 八幡地区区長

生活道路の拡幅を求め、賛成全員で採択した。

町道上野・福島・神林線の一部拡幅改良に関する請願

請願者 青木・小摺戸地区区長会長ほか

通勤・通学の重要道路として拡幅改良を求め、賛成全員で採択した。

町道上野・福島線の一部拡幅改良に関する請願

請願者 青木・小摺戸地区区長会長ほか

通勤・通学の重要道路として拡幅改良を求め、賛成全員で採択した。

国民の暮らしを優先した公共事業の推進と防災体制の強化を求める請願書

請願者 国土交通省全建設労働組合北陸

地方本部黒部支部長

黒部川流域住民の生命、財産、文化を守る公共事業の実現を求める。賛成全員で採択した。

大豆作農家助成についての陳情

陳情者 入善地区中核農家連絡協議会長

天候などにより不作となった大豆作農家に助成を求める。賛成全員で採択した。

継続審査とした請願

戦闘の続くイラクへの自衛隊派遣の中止を求める意見書に関する請願

請願者 ビースウォーク・イン・富山実行委員会

イラクへの自衛隊派兵計画を直ちに中止することを強く求める意見書採択に関する請願書

請願者 革新の灯の下に人間の今日と明日を考える魚津懇話会

「日本の人道的支援の立場から反対はできない」あるいは「国連中心の復興支援をすべきであり、派兵は反対である」など賛否両論があり、継続審査とした。

条例・規則

入善町営住宅条例の一部改正

町営住宅駐車場の使用資格及び使用料の改正。町営住宅でグループホーム事業を行う社会福祉法人への使用を認める改正。

賛成多数で原案可決

企業立地用地取得契約

海洋深層水関連企業の進出に備え、活用施設付近の下飯野地内に用地を取得する契約。取得面積は12098㎡で、金額は4032万円。1日も早い企業誘致が期待される。

賛成多数で原案可決

平成14年度決算を認定

一般会計ではアワビ養殖事業などに反対意見もあったが、賛成多数で認定した。

また、国民健康保険特別会計、老人保健医療特別会計、簡易水道特別会計、育英奨学資金特別会計、下水道特別会計、農業集落排水特別会計は賛成全員で認定した。

# 員会レポート

## 合併問題

### 町長の「凍結」発言を支持

町長は12月19日議会最終日に合併協議を凍結すると発表した。町長の出席のもと同日開催された議会合併問題特別委員会では、議会としても町長の考えを支持することが確認された。

これまでの経過をふまえて特別委員会での協議を掲載した。

### これまでの経過

#### 12月12日入善町議会

町長は、新市の名称は既存の名前は使うべきではないことを、合併協議会で主張すると答弁。



12月13日の合併協議会

#### 12月13日合併協議会

この日は事務所の位置が提案され、新市の名称が決定されることになっていたが、荻野会長は事務所の位置は本日提案できないと報告。協議は紛糾し、休憩となった。

休憩中に各首長、助役、議会関係者での話し合いの後、名称が「黒部市」に決定した。事務所の位置は入善町役場が提案され、19日に臨時合併協議会を開催し、事務所の位置を決定することを確認した。

#### 12月19日臨時合併協議会

黒部市議会議長が、市民への説明の時間がほしいとして、事務所の位置の決定を先に延ばすよう要請。

3町の委員から黒部市委員に厳しい批判がだされたが、1月以降に延ばすことを確認。

#### 19日の委員会協議会から

**委員長** 本日の臨時合併協議会で黒部市の議長より、事務所の位置決定の先延ばしの要請があった。私は、協議会が住民にメリット・デメリットを示せる資料を出すまで、協議の凍結を提案した。

協議会では、黒部市の議長に対して厳しい意見が出されたが、事務所の位置については先延ばしになった。その結果が町長の「凍結」発言になったと思うが、町長から説明を求めたい。

**町長** 新市の名称に既存の名前は使うべきではないというのが町民の多くの意見であり、私は議会などでもそのことを言ってきた。

12月13日の合併協議会に向けて、4首長との話し合いでも、町民の意見を言わせて欲しいと求めたが、それでは合併そのものが壊れるとのこと、発言しないことにして新市名に同意した。そして、事務所

ることになった。

ところが、13日の協議会では新市の事務所の位置が提案されなかった。その時点で入善町の委員は名称も含めて合併に白紙で臨んだ。

休憩中の協議では再度、名称についての意見を述べさせて欲しいと求めたが、最後には発言しないという条件で、その日に事務所の位置（入善）が追加提案されることになった。

当然、今日（19日）午前の臨時合併協議会で事務所の位置が決まるものと思ったが、黒部市が結論を延ばしてほしいとのことで決まらなかった。

このような経過で、私は、合併協議を凍結することにした。この間に、住民や議会の意見を聞きながら冷静に考えたいと思う。

**Q** 凍結とはもう合併はしないということか。

**町長** 合併協議会からの離脱ではない。一時協議から外れるということ。

**Q** 今でも合併すべきと考えるが、いつまで凍結するのか。

**町長** 黒部市長選挙もあり、2月までが良いと思う。

# 常任・特別委

**Q** 小委員会などの協議もしないのか。入善町の他の委員にはどのように対応するのか。

**町長** 町は出席しない予定。委員には直ちに連絡し、22日に集まってもらい説明したい。凍結解除にはそれなりの理由がないとできないと思う。合併でのメリット・デメリットが明らかにされるまで凍結すべきではないか。  
**町長** 2月14日が市議選後の協議会であり、その日まで凍結したい。財政的なものは区長会にも知らせる。

## こんな意見も

◎協議事項がたくさんあるのに、凍結で協議の先送りはいかなるものか。  
 ◎合併特例法期限の平成17年3月は国が決めたことであり、必ずしもそれにこだわる必要はない。  
 ◎財政的見通しを、もっと議会で研究し、住民に開示すべきだ。

## 総務

### 職員の早期退職の理由は

**Q** 職員が配置後すぐに5人退職している。能力などを見極め適材適所の配置をしているか。

**A** 本人の希望を反映するよう努力している。人事評価に力を入れ、適切な配置に取り組みたい。

### 市街地の整備は

**Q** 武村福祉会館周辺整備には、これまでの市街地活性化



うるおいゾーン予定地の武村福祉会館周辺

計画での論議を参考にすべきだ。内容と策定の用途はどうか。  
**A** 入善地区公民館建設の要望もあり、旧中央公民館、東洋紡社宅跡地などを利用し市街地に潤いを取り戻したい。19年度までの3カ年計画で実施する予定。合併特例債を前提に考えている。来年3月まで策定し報告したい。

### 職員間の合併協議への暴言

**Q** 各部会での協議で、町の職員が他の自治体の職員から「合併すれば自分の部下だ」と言われている。これでは対等の協議ができない。首

長会議で抗議すべきだ。  
**A** 最近聞いたがとんでもない話であり、抗議する。

## こんな意見も

### 自衛隊のイラクへの

### 派兵反対の請願について

◎イラクは泥沼化の戦闘状態であり、派兵は憲法違反の疑いがある。日本が軍隊を動かさないことが、世界からの信頼を得ること。国連中心の人道支援であるべきだ。  
 ◎外交官を守れなかったことで悔しい思いをした。自国の国民を守ることが国の基本。人道支援の派遣でありテロに屈してはならない。

## 教育福祉環境

### 障害者福祉の一層の取り組みを

**Q** 障害児放課後活動支援の委託料補正の内容は。

**A** 町から富山の高志養護学校へ通う生徒の放課後支援対策で、今年度から始まった。

## 産業経済

**Q** にかわ苑（旧すずらん教室）への補助の内容は、4月に法人化したのが、当初、国の補助が得られず、ようやく県と町での補助が確定した。

### 子宝支援の状況は

**Q** 今年から始めた子宝支援の補正が組まれているが、状況はどうか。

**A** 3子に一時金で10万円、4子に5年間で100万円を支援するものだが、当初の見込みより増えた。

### コピー代の引下げを

**Q** 町施設のコピー代30円は高い。早期に引き下げを。

**A** 来年度から実施する予定。

### こんな意見も

◎医療制度がどんどん変わり国保や老人保健での給付も変動してくる。将来を展望するために、補正の原因を十分説明できるように資料づくりを求める。

◎子宝支援も重要だが、不妊で悩む人への支援も強めよ。

### 簡易水道工事補助の見直しを

**Q** 老朽化による簡易水道のさく井工事が増えている。助成の金額を見直すべきでは。

**A** 平成8年に50万円の補助から100万円に引き上げた。

### 深層水利活用の推進を

**Q** 深層水の利活用の補助は1団体に30万円だが。現状はどうか。また、研究への参加を強めるべきではないか。

**A** 3年を限度に4団体に補助をしている。また研究については、今回、海洋大学が研究をしたいとのことで補助をした。東大、近大にも専門学部があり勧めたい。

### 大豆不作支援の陳情

**Q** 不作の原因は何か。支援要請の内容が分からないがどう対応するのか。

**A** 連作による地力の低下で収量は減ってきている。今回は防除方法と時期にも問題があった。農協は、全体で

はそれほど大きな被害はないとして、特別の支援はしないとのこと。

### 間伐材の利用促進を

**Q** 公園などに小さな休憩場や丸太づくりの施設などをつくり、間伐材の利用促進を図るべきだ。

**A** 間伐材そのものは安いが、運搬や製品加工で高くなる。新川森林組合と利用方法を研究しているところである。

## 決算

平成14年度歳入歳出決算審査にあたっては「税金が効率的に使われているかどうか」「行財政改革・地方分権、あるいは事務・事業の合理化と機構の簡素化にどう取り組んだか」を中心に審査を実施した。

### 審査で出された意見

#### 町民にわかりやすい組織へ

①保健情報室と健康福祉課を再編して、健康、福祉、保健の一体化を図る。②高齢者

や子育てに関する専用の係を設置するなど住民に身近でわかりやすい窓口の実現。③保健情報室と企画広報課の情報部門の再編による、情報の一元管理とITの推進を検討すべきだ。

### 各課に散らばる町の重点事業を総合的に

少子化、高齢化対策に対し町としてどのような事業展開をするのか、全職員が目的を共有し、町民の立場に立って事業を執行すべきだ。

### 補助金の必要性の精査を

補助金の支出にあたっては、目的を明確にし、また支出団体の実態把握に努め、補助金が真に必要などうか精査を求める。

### 人件費の削減に努めよ

近隣市町に比べ、予算に占める人件費比率が高い。少しでも人件費の削減に努力すべきだ。

### とも補償制度の継続を

入善町発祥の「とも補償制度」は、転作田の団地化による農地の効率的な利用や、担い手の育成など農地を守る制

度としてなくてはならないものであり、継続を求める。

### コンピューターリース契約の吟味を

コンピューターに高額な費用を投入している。リース契約はよく吟味すべきであり、有効な利用に努めるべきだ。



決算特別委員の現地視察

景気の低迷により税収の伸びが期待できない厳しい財政事情であり、新年度予算では経常経費を極力削減し、効率的な予算配分を反映することを求めるものである。

安心して子どもを産み育て、高齢者が暮らしやすいまちづくり、当局の一層の努力を期待する。

# 町政のここが聞きたい そこが知りたい

(11人の議員が登壇)

**谷口一男**(21世紀の会)  
(8P)

- ・合併に関する基本的な考えは何か
- ・まちづくり計画の要点と実施計画を示せ

**大橋美椰子**(政策フォーラム)  
(9P)

- ・合併せずに安心して暮らせるまちづくりができるのか
- ・16年度重要課題は何か
- ・公共施設の修繕費の確保を
- ・補助金、負担金の削減による問題点と次年度の見通しを示せ

**九里郁子**(日本共産党)  
(10P)

- ・合併は有利か不利か財政資料を住民に示せ
- ・小規模修繕の受注希望者を登録する制度などの検討を
- ・イラクへの自衛隊派兵について町長の見解を示せ

**山下 勇**

(11P)

- ・ウェルネス施設に福祉機能をもたせよ
- ・蓄養施設の活用策を見直せ
- ・誘致企業の進出、その意気込みを示せ
- ・養殖アワビ販売の評価はどうか

**松田俊弘**

(12P)

- ・つまずいたアワビ養殖に責任ある対応を
- ・深層水健康施設計画の3億円の増額理由は
- ・国のコメ政策で兼業農家を切り捨てるな
- ・町内医療機関に後発医薬品の使用拡大の働きかけを

**東 狐 和**

(13P)

- ・政治家の女性差別発言について見解を示せ
- ・町男女共同参画推進条例の施策実施状況を示せ
- ・安心安全の登下校対策は
- ・おれおれ詐欺にみる背景と予防対策を問う

**本多幸男**

(14P)

- ・対等・平等・互惠の意義をどのように認識すべきか
- ・新市名の決定に向け町10校下の意見をどう受け止めたか
- ・新市庁舎をどこに置くのか、町長の考えと決意を示せ

**中瀬 範 幸**

(15P)

- ・町のIT戦略を構築し計画的に進めよ
- ・生活基盤直結の防犯灯、道路標識はすぐに修理せよ
- ・「町雇用対策推進本部」は雇用確保の活動をせよ

**上田 健 次**

(16P)

- ・入善インターチェンジ実現に向けて行動を
- ・心の迷いをさせないためにはどうしたらよいか

**上野 等**

(17P)

- ・町消防団ラッパ隊を充実強化できないか
- ・町職員の消防団への入団促進を

**佐藤 一 仁**

(18P)

- ・障害児保育の現状と今後の取り組み姿勢を示せ
- ・「おあしす新川」の増床計画を示せ
- ・東町町営住宅の設計見直しや工事区分変更の理由と効果を示せ

議会事務局に議事録があります

12月議会は8日から開催。代表・一般質問は12日と15日に行われた。合併問題では4人の議員が質問に立ち、活発な議論が展開された。議会最終日、町長は合併協議を2月まで凍結すると発表したが、議会としても、今後一層議論を深め、町民に情報を提供するように努めていきたい。

# 合併に関する基本的な考えは何か

谷口 一男 議員

## 町長

### 住民の立場を考え、行政サービスの水準を維持

問 今どうして合併なのか、今一度、合併に関する基本的な姿勢、考え方を問う。

米澤町長 常に住民の立場を考え、行政サービスの水準を維持していけるかが私の基本姿勢だ。

効率的な財政運営を考え、的確な計画、適期の政策執行を心がけてきた。スケールメリットを活かしたまちづくりを考え、合併を進めている。

問 新市の名称は、既存名を使わないという考え方や、まちづくり懇談会での町民の意見をどのように法定協議会に反映させるのか。

町長 懇談会での意見を基に町民の意思を、町の意見として提案したい。

問 合併後の新市の事務所に  
町長 地方自治法第4条第2

項では「交通の利便性や住民が最も利用しやすい」と規定している。1市3町の中央部に位置する入善町が最もふさわしいと考える。

問 合併した後の新川広域圏の運営はどのようになされるのか。

町長 広域圏の中ではまだ協議はしていないが、基本的には負担金について新市が引き継ぐものと考えている。

介護保険については、事務組合を解散し、新市の事業として運営していく。

まちづくり計画の要点と  
実施計画を示せ

新市まちづくりプランについては、事務レベルで摺り合わせをしている。

問 厳しい財政状況の下、補

助金、地方交付税、税源移譲の「三位一体改革」がどこまでなされるか定かでないが、今後のまちづくり計画の要点と実施計画を示せ。

上原企画広報課長 町の特性である人・土・水を最大限に活かし、環境と経済が人と情報のネットワークにより調和した「エコ・ネットワーク」



町民の意見をきく「まちづくり懇談会」

づくりにある。

新市まちづくりプランについては、事務レベルで摺り合わせをしている。

実施計画は今議会終了後に説明する。

問 今後の土地利用計画はどうなっているのか。

企画広報課長 平成6年に土地利用構想が策定され、約10年が経つ。16年には土地利用構想、活用計画の策定に入りたい。

問 8号バイパス開通などで周辺の商業用地転用申請が出るとどう対処するのか。県の許可は下りるのか。

浜田農政課長 平成16年3月までに補助整備の期間が終わる。補助金適正化法からいつて8年間の転用は無理であるとうたっているため、難しいと考える。



# 合併せずに安心して暮らせるまちづくりができるのか

大橋 美椰子 議員

## 町長

## 経費節減での健全な財政運営が基本姿勢

**問** 国の借金は1人あたり578万円、地方では156万円である。合併せずに安心して暮らせるまちづくりができるのか。

**町長** 町民の意思を最優先させることを政治姿勢としている。町の行政サービスは他の市町と比べ低くはない。経費の節減を図りながら、必要な施策を行い、これまでどおり健全な財政運営をする基本姿勢は変わらない。

### 16年度の重要課題は何か

住民サービスの低下を招かないことが大切

**問** 国は地方財政計画の歳出を徹底的に見直し、公共投資関係経費も3%以上の削減とある。次年度の重要課題とその取り組み姿勢を示せ。

**助役** 地方では行財政重点施策として①分権型社会の実現②電子自治体の推進③個性豊かで活力のある国土形成の推進を示している。町も一層の政策形成能力の向上を図り、

着実に行政課題への対応を図りたい。

交付税をはじめ、補助金や地方債計画などに制限されることにより、事業に影響がでることも考えられる。

しかし、政策的な経費を確保し、住民サービスの低下を招かないことを大前提に、経費の削減など徹底した節減合理化に努める。

### 公共施設の修繕費の確保を

経過年数や老朽化度を勘案して更新したい

**問** 公園などの施設の破損が予算不足で放置されている。当初予算で必要な修繕費を確保すべきだ。

**町長** 公園の器具や施設の老朽化が進んでいる。経過年数、老朽化度を勘案しながら対応を図ってきた。

春日農村公園の遊具をはじめ他の公園でも事故が発生しないよう安全性に配慮して対応している。そのほかトイレ水洗化工事、平和の鐘、カッパ橋の修繕も行った。今後もパトロールを強化しながら状

況を把握し、修繕にあたる。

補助金、負担金の削減による問題点と次年度の見通しを示せ

積極的な活動には精一杯支援する

**問** 今年度、各団体への補助金、負担金が削減されたが、その実施状況と問題点および次年度の見通しを示せ。

**町長** 基本的な考え方として、真に補助負担が必要か精査し、団体運営補助については10%

程度、食糧費の性格の強いものは50%を削減した。

事業費補助は金額ありきではなく必要額を精査した。

その結果、廃止が13件で77万2000円。削減が64件で724万円となった。16年度も本来行政が補助、負担すべきかどうか原点に戻り精査し指導する。

町として限られた財源の中、積極的な活動には精一杯の支援をしていきたい。有効な活用をしていただくよう町としても皆さんにお願いしたい。



新しくなった遊具（春日農村公園）

# 合併は有利か不利か、財政資料を住民に示せ

九里 郁子 議員

## 町長

### すべてにおいてバラ色ではない

**問** 住民の多くは「新市の名称や庁舎の位置も大事だが、福祉やくらしはどうなるのか合併したら有利なのか不利なのか、もっと情報を知らせてほしい」と望んでいる。

**町長** 区長会連絡協議会は町長と議会に「各市町の財政指標などを含め、合併のメリット・デメリット」と「入善町の財政運営について、合併の是非を判断するための資料」を具体的に住民に開示することなどを求める要望書を提出している。積極的に応えるべきだ。

**合併協議会で荻野会長は、サービスは高く負担を低くするためには、新たに9億5000万円の財源が必要と述べたが、その財源はどこで確保するのか。**

**町長** 人件費の削減などで5億5000万円確保できて

依然4億円程度の財源が不足する。

**問** 地方交付税交付金は、新市では合併10年後から、12億4000万円の減額になるとのことだが、合併しなかった場合の入善町の減額はどれくらいか。

**町長** 10年後に人口が2万5000人と想定した場合、2億3000万円の減額、高齢者人口が10000人の増加と想定して、9000万円増となり、差し引き1億4000万円の減となる。

小規模修繕の受注希望者を登録する制度などの検討を

### 十分検討したい

**問** 長引く不況で中小零細業者は、税金も払えないほど困っている。公共施設の50万円

未済の小規模修繕工事を中小零細業者に受注する登録制度を提案する。

**財政課長** 平成14年度、50万円未満の発注件数は976件、総額6320万円であった。

**制度については十分検討したい。**

**問** 町内の建築業者に自宅のリフォームを依頼すれば、工

事費の10%を奨励金として10万円を限度に、町発行の商品券を出す制度は、地域経済への波及効果もあると思うが実施を考えよ。

**財政課長** 町から出す報酬的なものに町発行の商品券を出している。リフォーム助成制度については、今後念頭に置き検討したい。

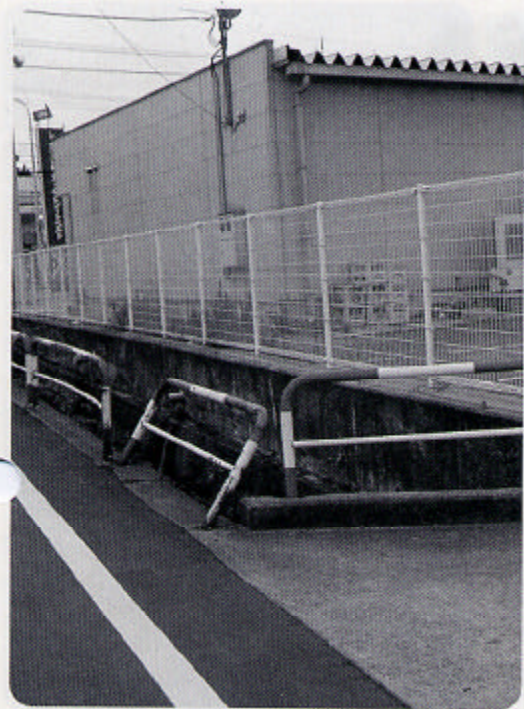
**問** イラクへ自衛隊を派兵すれば取り返しのつかない事態を招きかねない。いま日本政府がおこなうべきことは、国連中心の人道復興支援に切り換えることなど、外交努力に全力を傾注することである。

**町長の見解を示せ。**

**町長** イラク復興特別措置法に基づいて政府は自衛隊派遣の決定を行った。世界の平和とイラクのためになる人道的な復興支援であってほしいと願っている。国際社会の一員としての役割を果たすべきも

イラクへの自衛隊派兵について町長の見解を示せ

国際社会の動向や内外の世論を見極めて



修繕が待たれる小規模工事

# ウェルネス施設に福祉機能をもたせよ

山下 勇 議員

## 町長 深層水パーク周辺に「海洋深層水体験交流施設」を構想している

問 町長はウェルネス施設を17年度着工、18年度に完成との考えであるが、この構想に提言したい。

海洋深層水を資源とした療養施設に位置づけ、地産地消による民宿型で総合福祉の役割をこの施設にもたせればどうか。

町長 全体構想の策定については10月末に終了した。

「黒部川扇状地湧水」「海洋深層水」からなる「水資源」をキーワードに、自然資源や産業資源などの検討を行い、深層水パーク周辺に交流の拠点として「海洋深層水体験交流施設」を構想している。

この施設を核として、交流人口の拡大や住民生活の向上、産業振興、町のイメージアップを図りたい。

蓄養施設の活用策を見直せ

漁協と相談して有効活用を考えたい

問 蓄養事業はどのような魚介類が蓄養され、市場での評価、採算性はどうか。蓄養する魚介類が取れず、

これからも魚の見通しは難しいと思われる。この際に施設の活用を見直しせよ。

鍋谷海洋深層水課長 蓄養施設は清浄性を活かしての魚介類の出荷調整施設であり、これまでアワビ、トヤマエビ、カキ、サザエなどを出荷している。収益性の面から考えると問題があり、海藻などの養殖に切り替えるのも一つの方法と考える。水産試験場、入善漁協とも連携しながら収益性の上がる有効活用を考えたい。

誘致企業の進出、その意気込みを示せ

製塩企業の誘致に向けて働きかけている

問 9月議会で答弁のあった製塩事業の誘致、製塩を核として地域雇用を回り農産物や魚貝類、食品加工、医薬品の開発を広げて、雇用の創出と地域の活性化につながるよう企業誘致に全力投球を期待する。



健康増進館 くらら (静岡市)

海洋深層水課長 先の9月議会で深層水パークに隣接する企業立地用地の取得費と造成工事費の補正予算を可決した。土地所有者と仮契約を取り交わしたところである。

一つの事業構想として製塩事業が動いている。この実現に向け今働きかけている。

養殖アワビ販売の評価はどうか

好評を得ているが目標にはほど遠い

問 入善漁協が事業を導入して2年目、推移と売上目標、消費者の評価はどうか。

海洋深層水課長 売り上げ数は12月上旬で、約2万個、1100万円になった。売り上げの3分の1は石川県のホテルへの出荷で、お客さんからは好評を得ている。

しかし、当初計画の販売目標には、程遠い結果であり、年末年始の売り出し商戦に皆様の協力をお願いしたい。

# つまずいたアワビ養殖に責任ある対応を

松田 俊弘 議員

## 町長

### 現場に向いて状況を確認したい

問 漁協のアワビ養殖は、成長不良が著しく、販売数も目標の26%にとどまっている。

まだ実験段階の深層水での養殖事業を、強引に導入した町の責任は大きい。町長が先頭に立って県や国にも対応を求めらるべきだ。

また、1億円をかけての養殖施設の増設計画は凍結すべきだ。

町長 現場に向いて状況を確認したい。

海洋深層水課長 施設の増設は、収支計画がきちんとしていない状態では考えない。

深層水健康施設計画の3億円の増額理由は

### 合併の目玉としたい

問 17年度から着工予定の深層水利用の健康増進施設建設

計画を1年早め、建設費も3億円近く増額し12億円とした理由は何か。

これだけの税金を使うのであれば、子育てや高齢者対策に予算を回すべきであり、計画を根本的に見直すべきだ。

助役 1市3町合併の目玉としたい。観光施設として、町民だけでなく多くの人に触れてもらいたい。

国のコメ政策で兼業農家を切り捨てるな

担い手と兼業農家が痛みを分かち合う方向で調整

問 政府の新コメ政策は、水田面積が4ha以上の農家と20ha以上の法人営農組合だけしか転作補助の対象にしていない。

町では小規模な兼業農家がコメづくりを支えており、こ

うした農家を切り捨てる政府の農業政策では、町の農業を維持することはできない。

町はコメ政策の見直しを国に求めると同時に、町農業の維持発展の将来展望を示せ。

町長 産地づくり交付金の使途が限られ、水田農業ビジネスの策定に苦慮している。

担い手、兼業を問わず、全員参加で米の需給調整に取り

組み、担い手育成につなげる。これまでの手法を大幅に変えず、担い手農家と兼業農家の双方が痛みを分かち合う方向で調整を図る。兼業農家は集落化で対応する。

10年、20年後を考え、後継者や青年の就農を促すために、経営が成り立つ農業所得が得られる環境整備を図る。

問 町の優れた制度である「とも補償」は今後も堅持せよ。

町長 自主的な調整体制には最も重要な制度であり、今後とも堅持していきたい。

町内医療機関に後発医薬品の使用拡大の働きかけを

近隣の病院や医師会を通じて働きかけたい

問 日本の医療費増の要因の1つに新薬偏重がある。後発医薬品は、特許が切れた新薬と同じ効果で、値段は平均で新薬の半分程度だ。

患者や自治体の負担を減らすためにも、町内の医療機関、国、県に対して後発医薬品の使用拡大を働きかけよ。

健康福祉課長 近隣の公立病院や町の医師会などを通じて新薬偏重を見直し、後発医薬品の使用拡大に努力してもらうよう要請していきたい。



試行錯誤のアワビ養殖

# 政治家の女性差別発言について見解を示せ

東 狐 和 議員

## 生涯学習・スポーツ課長 非常に不適切な発言であると思う

問 国連による政府の女性差別解消への取り組みが鈍いという批判、また政治家の女性差別発言について見解を示せ。

島先生涯学習・スポーツ課長 男女共同参画社会の根幹は人権の尊重である。国、県あげての重要施策である男女共同参画社会の実現に向け、町民の意見を十分に踏まえ、推進に努めたい。

国会議員の太田発言や森前首相などの発言に対して、女性差別として謝罪を求める抗議が殺到し、翌日陳謝したということである。全容がわからないが非常に不適切な発言だと思われる。

男女共同参画推進条例に基づき施策実施状況を示せ

女性議会や男女共同参画フォーラムにゆうぜんなど大きな成果である

問 本年の4月1日「推進条例」が施行され評価したい。施策の実施状況を示せ。

生涯学習・スポーツ課長 プランの策定、女性フォーラムや女性議会の開催、推進員の活動などがある。今後も

推進に努めたい。

安心安全の登下校対策は

子ども110番の家を254カ所指定して安全確保に努めている

問 道原商店前のガードレールは危険で、登下校の邪魔。早く撤去し通行させるべきだ。

町長 上町・君島線との交差点処理に問題があり、撤去は早くて来年1月末ぐらいだ。

西田学校教育課長 町にも不審者の出没が頻発し、町の教育センターから各学校へ情報を発信して学校での対応を依頼している。

集団下校の実践、PTAと先生が連携をとって、街頭指導を行っている。防犯灯の新設や防犯カメラの設置など、地域ぐるみで登下校の安全確保に努めている。

問 出会系サイトの犯罪の予防策を示せ。

米島教育長 携帯電話の所持状況は児童・生徒の1割強。

児童・生徒には携帯電話を利用した犯罪などの危険性を説明し、保護者には管理・監視を依頼している。3中学校

とも学校への携帯電話の持ち込みを禁止している。

学校と保護者が連携を密にとりながら犯罪防止に努めていきたい。

問 「ひきこもり」をつくらないための対応策を示せ。

米島教育長 相談があれば町として積極的に取り組みを支援したい。

おれおれ詐欺にみる背景と予防対策を問う

自己防衛策として当事者自身が本人かを確認すること

問 おれおれ詐欺の被害者は70〜80代が大半であり、近年核家族が増え、自分の家族に關して情報不足の人たちが被害を受けている。

町の予防対策を示せ。

総務課長 入善警察署はテレビやFAXネットワーク、黒東防犯ニュースで町民に啓発・防止策について呼びかけている。

自己防衛策として当事者自身が本人かを確認することが大切である。



女と男の共立ちセミナー

# 対等・平等・互恵の意義をどのように認識すべきか

本多 幸男 議員

## 町長

### 上下の関係なく討論し、譲り合う精神が肝要

問 1市3町の合併協議の基  
本は編入合併ではなく、対等  
互恵による新市新設方式のほ  
ずである。

口先で対等互恵と言いな  
が、新市名も新庁舎の位置も  
自分たちの主張を貫こうとす  
る姿勢は、円満な解決方法で  
はない。

真の対等互恵とは、主張意  
見を一つ聞いてもらったら、  
他の自治体へ一つお返しをす  
る、そういう心だと思う。

町長は2万9000町民の  
最高責任者として対等・平等・  
互恵の持つ意義についてどの  
ように認識しているか。

町長 対等とは文字どおり上  
下の関係なく、各々が自分の  
思いをお互いに話し合い討論  
をし合えることだと思ってい  
る。

意見が違った場合、どうす  
れば双方が納得できるかを見  
いだし、お互いが歩みよって  
譲るべきところは譲り合うこ  
とが互恵の精神であると思っ  
ている。

新市名の決定に向け  
町10校下の意見を  
どう受け止めたか

既存の名称を使わない  
ことを町の意見として  
提案したい

問 10月の法定協議会で新市  
の名称を決定することになっ  
ていたが、議長が「住民懇談  
会などでよく意見を聞いた上  
で、12月の法定協議会で決め

るべき」と提言した政治判断  
を評価する。

機が熟していない時点で多  
数決で決めるような事態とな  
れば、どのような新市名に決  
定しても、今後の合併協議に  
支障をきたすと思われる。

町長は町10校下の「まちづ  
くり懇談会」を終えて町民の  
意見をどのように判断してい  
るか。

町長 各地区の「まちづくり  
懇談会」で町民からお聞きし  
た意見により、町民の意思を  
確認したいと機会があるたび  
に言明してきた。

そこで12月13日の合併協議  
会においては、1市3町の全  
ての住民が、一致団結して新  
たにまちづくりを進めていく  
ということから、既存の名称  
を使わないことを町の意見と  
して提案したい。

新市庁舎をどこに置  
くのか、町長の考え  
と決意を示せ

1市3町の中央部に位置  
する入善町が最適

問 新市庁舎をどこに置くか  
という問題は、地方自治法第  
4条第2項で定めてあること  
く、「住民の利用に最も便利」  
であるように考慮を払わなけ  
ればならない。あらゆる角度  
から吟味し、住民に喜ばれる  
最大公約数を求めるべきと思  
う。町長の考えと決意を示せ。

町長 法の規定にもある交通  
の利便性や住民が最も利用し  
やすいということなどを考慮  
すれば、1市3町の中央部に  
位置する入善町が最適であろ  
うと考えている。本日ここに  
議会、合併協議会委員、町民  
の皆様私の思いを明らかに  
し、ご支援をお願いしたい。



対等・互恵の協議を

# 町のIT戦略を構築し計画的に進めよ

中瀬 範幸 議員

町長

## 「情報化計画」に基づき、 福祉、医療、教育の分野で検討する

問 国では世界最先端のIT国家を目指して平成15年7月eジャパン戦略IIを展開している。「入善町情報化計画」は12年の策定であり、町の状況も大きく変わった。

早急に見直しをしてIT戦略として再構築せよ。

町長 町は、国の施策にあわせインフラ整備を進めてきた。今後も「入善町情報化計画」に基づき福祉、医療、教育の分野で検討していく。

問 町総合計画と連動し財源も明確にした「IT推進計画」を立案して計画的に推進せよ。

企画広報課長 1市3町の合併を控えており、広域での計画策定が必要であることから、新市発足後、速やかに策定する。問 庁内のIT推進組織が企画広報課と保健情報室に分散して弱体である。一本化して強化せよ。

企画広報課長 助役を筆頭に企画広報課を事務担当とし、各課にOAリーダーを配置して取り組んでいる。

要望 組織の一本化については、決算特別委員会ほか今まで何回も言ってきた。システムエンジニアの不足する中、

早急に人材育成と組織の見直しを要望しておく。

生活基盤直結の防犯灯、道路標識はすぐに修理せよ。

住民の安全を守るため相談に応じる

問 安全・安心・安らぎの生活基盤に直結する防犯灯・安全柵・道路標識などが破損しても、予算がない場合断られる。即応できる予算制度のしくみを考えよ。

総務課長 防犯灯は補助金対応のため、予算がない場合、他からの流用はできない。しかし、住民の安全を守るための重要な設備であり、総務課に相談があればしかるべき対応をとる。

「町雇用対策推進本部」は雇用確保の活動をせよ

斡旋出来ないが相談業務や企業情報の収集をしている

問 魚津管内の求人倍率は0.85と上昇であるが、中高年の求職者が増加している。



整備が進む庁舎のコンピューター群

一歩、来春卒業予定の高卒者の内定率が全国で34.5%、大卒60.2%、短大卒29%と発表され深刻な問題だ。

「入善町雇用対策推進本部」は積極的に活動を行い、雇用確保・拡大につなげよ。

金森商工観光課長 この本部の活動については、現行法で職業の斡旋ができない。そこで相談業務や企業情報の収集にとどまっている。

問 「採用計画はあるが募集人員に満たない」いわゆる雇用のミスマッチが多い。

その対策として求職者の国家資格、専門技術など人材登録制度を設置し、求人・雇用の促進につなげられないか。

商工観光課長 県内の市町村レベルでは例がない。県では東京、大阪、名古屋の事務所をUターン情報センターを設け個人情報登録、事業主への情報提供を行っている。

問 県では15年から「緊急地域雇用創出特別交付金」の活用による雇用創出で、3年間1万6000人以上の目標を掲げて取り組んでいる。もつと町でも活用を図れ。

商工観光課長 14年度事業に対して、今年度は公園管理、資源ゴミの回収などで雇用が倍増している。16年度さらに活用を広めたい。

# 入善インターチェンジ実現に向けて行動を

上田 健次 議員

## 町長

### 新市において積極的に取り組んでいく

問 町に待望のインターチェンジをつくるには、ETCを活用したインターの整備により、従来のような広大な土地を必要とせず、高速道路の有効利用や地域経済の活性化が図られる。早い時期に入善インターチェンジ（仮称）の開設の考えはあるか。

町長 国土交通省は、高速道路のノンストップ料金収受システム専用インターチェンジを設置し、現在、全国に700カ所あるインターを将来的に倍増する計画を発表している。

今はまだ、自治体と公団との費用分担方法は固まっていない。料金所にかかる人件費の削減や取り付け道路の形態を簡略化することにより、工事費の大幅な削減が期待できると聞いている。



入善町にもETC専用インターを

また、日本道路公団については、民営化に向けた大きな動きがあり、採算重視の経営形態をめざしている。

神林の入善パーキング利用のインターについては、ETC専用であれば、インター間の距離には問題がないとのこと

とである。利用者の増加は公団の望むところであり、町としても町民の利便性が向上すること、意見の一致を見るものと思う。

このような状況の変化に対応し、交通事故や渋滞などの問題解決につながることや、

経済的な波及効果も期待しながら、早期の着手を目指して、新市において積極的に取り組んでいく。

心の迷いをさせないためにはどうしたらよいか

不幸な事態は地域をあげて防がなければならぬ

問 毎年10人以上の人が自らの命を絶っている。

住民の安全、住民の福祉を守るというのは地方自治の重要な使命であり、自治体として心の悩み相談窓口を設置できないか。

中塚保健情報室長 男性は女性に比べて相談すること自体恥ずかしいと考え、問題を大きく深刻化しがちである。町としては、「こころの健

康」問題に対する正しい知識の普及・啓発を推進する。

あらゆるレベルにおいて、すべての人を「ひとりぼっち」の状態から解放する体制、「共助の精神・体制」づくりを推進することが求められている。

こころの相談窓口として、町の健康福祉課地域福祉係や保健情報室健康づくり係、県の新川厚生センターがあり、随時相談に対応している。

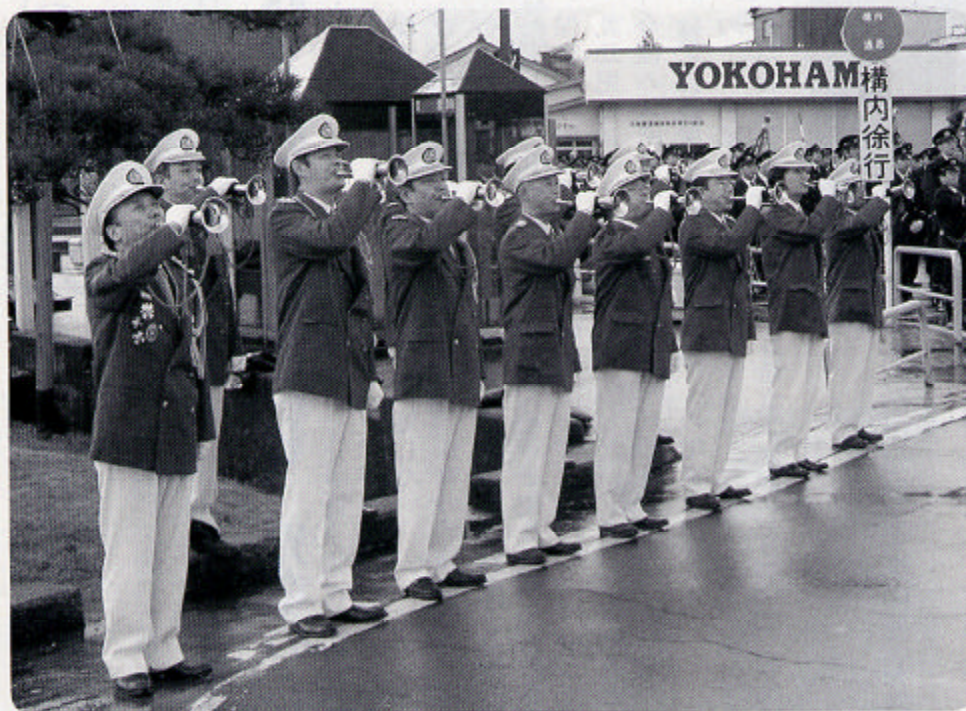
また、厚生センターでは月2回、精神科医による相談会や必要に応じて、地域へ出向く事業もある。町、県、精神科診療の医療機関と連携を図りながら、「町民のこころの健康」について対応したい。



# 町消防団ラッパ隊を充実強化できないか

上野 等 議員

## 町長 一般町民有志にも参加できる体制を整える



入善町消防団ラッパ隊

問 町消防団のラッパ隊の歴史は古く、今年で結成47年を迎え、現在隊員数は20人、その編成は、団員のみとなっている。

考えはないか。  
町長 昭和31年出初め式の国旗掲揚の際にラッパ吹奏を行ったのをきっかけに、昭和33年2月末から3月中旬にかけて、毎日午後、消防ラッパの講習を開催した。講師は小林義雄氏、受講者は小摺戸分団

舟根正良ほか5人。10日余りの努力により吹奏教習可能となると記されている。

また、県内をみると富山市、高岡市、小矢部市、福光町に音楽隊があり、富山市、高岡市においては消防職員、小矢部市、福光町においては団員と一般住民で構成されている。

このように音楽隊、ラッパ隊の構成は各市町村さまざまであるが、町のラッパ隊編成においては、団員のみではなく、幅広く一般町民有志の方々も参加できるような体制整備が大事だ。

細部の問題については、消防団長とも協議し、予算的にも配慮し、十分検討していきたい。

### 町職員の消防団への入団促進を

### 入団促進策を講じていかなければならない

問 国の施策として、平成14年11月に地方公共団体職員による消防団への入団促進について通知された。

自らの地域は自らで守るといふ精神に基づき地域に密着

した団員の確保に有効であるとともに、新時代に即した消防団として活性化につながるかとされている。

近年役場職員からも団員に加わった経緯もあり、入団当初は戸惑いも見受けられたが、水防、火災訓練を積み重ねるとともに消防団業務に対する認識も深まり、日常業務の意識向上、すなわち住民サービスへの向上につながっていると思う。町長の見解を寄せ。

町長 地方公務員による消防団への入団促進ということだが、平成13年4月1日現在において、全国における94万4000人あまりの総団員数に対し、地方公務員の団員数は7万2333人(7.4%)、国家公務員の団員数は6889人(0.7%)が属している。町においても実情に即した団員構成となるよう適正なる入団促進策を講じていかなければならないと考えている。また、魅力ある消防団として位置づけ、活発な施策を講じて活性化につながるよう努力したい。

# 障害児保育の現状と今後の取り組み姿勢を示せ

佐藤 一仁 議員

## 町長

### 保護者との連携を密にし、児童の心身の発達に最善を

問 町の障害児保育では児童数や障害の種類など現状把握と、職員の加配などの配慮がなされているか。

また、専門性に対する研修、関係機関との連携、家族への支援体制はどのようなになっているか。

保育所の3カ所で、通常の保育士配置基準に1名を加えて行っている。

受け入れについては、集団保育が可能な障害程度の軽い乳幼児を基本としているが、今後の入所受け入れに際しては、保護者や関係機関と連携の上、児童の心身の発達にとって最善な方法を検討し、対

処したい。

保育の実施にあつては、保育士の専門性をより高めるため、必要な研修を受けさせるなど、これまでに増して配慮したい。さらに保護者との相互理解を深め、障害児の福祉の増進を図りたい。

#### 「おあしす新川」の増床計画を示せ

#### 16年度に30床の増床を計画

問 「おあしす新川」の増床計画の進捗状況はどのようなになっているか。

町長 平成16年度に30床を増床することで準備をすすめている。新たに建設する特別養護老人ホームは、全室個室、ユニットケアを特徴とする小規模生活単位型特別養護老人

人ホーム、いわゆる「新型特養」である。

延べ床面積は約1400㎡、各階10個室を整備する。町内の特養ホーム待機者が185人もいることから、ショートステイのベッドは含まない。今後、国と県の補助金内示を受けて、16年度の早い段階での運用開始を目指している。

#### 東町町営住宅の設計見直しや工事区分変更の理由と効果を示せ

#### 積算のぼらつきは是正や、コスト削減、町内業者への波及を考慮

問 今年度6月の入札予定だった東町町営住宅の入札延期と工事区分の変更、設計の一部見直しの目的は何か。また、その効果を示せ。

小森建設課長 今年度は第4期目として、木造住宅12棟31戸の建設を行っている。

「入札延期」については、設計図書の一部に不適切な表現があった。また、使用材料による積算のバラツキが危惧されたので、設計図書内容の一部見直しを図った。併せて、コスト削減ができるかと判断し、入札を延期した。

「工事区分」の変更については、木造建築を手がけている多くの町内業者に受注の拡大をする事により、町内からの資材調達など活性化を図れると考えた。

「効果」については、設計金額で約1300万円の軽減ができ、且つ、入札延期による工期の心配も、基礎などの工法変更により短縮できたと考えている。また、建築7社、電気8社、給排水6社、計21社が工事に関わることになり、町内業者の受注に広く効果があつたものと考えている。



建設が進む東町町営住宅

# 町の誇れる資源、海洋深層水シリーズ!!

最終回の今回は、ウェルネス施設の基本構想について説明します。

## 基本構想が10月に完成

深層水施設の取水が始まってから2年が経過しました。

町では、入善海洋深層水を利用した深層水あわびの養殖施設や蓄養施設などを整備するなど、主に水産分野に力を入れてきました。

また、企業誘致を図るために深層水パーク付近で用地を確保し、造成工事に入りました。

これ以外にも非水産分野の取り組みとして、住民のみなさんの要望の高いウェルネス施設の整備についても計画づくりを進めています。

ウェルネス施設を整備するために、町は昨年の5月から基本構想策定委員会を発足させ、10月末に構想をまとめました。

委員会のメンバーは全部で13名。委員長には町出身で日本大学教授の水嶋一雄氏が選ばれ、富山県立大学や観光協会、商工会、農業、漁業、女性団体などの専門家や代表者が委員になりました。

## 新たな交流拠点を創出

この構想は、地域資源との有機的な連携による海洋深層水の高度利用を行うために、新たな交流拠点を創出することが大きな目的です。

そのため、黒部川扇状地を大きなフィールドとしてとらえ、交流拠点としての可能性や位置づけを様々な観点から検討し、周辺整備の方向性や交流施設の概要についても協議しました。

検討結果として、この施設を整備することによって、「交流拡大」「健康増進」「産業振興」を見込むことができま

## 事業化に向け協議中

水産庁の補助事業にも深層水体験施設が平成15年度からメニュー化されており、来年度の事業化に向け県水産漁港課とも最終打ち合わせに入っています。

この施設は子供からお年寄りまで幅広い年代が、水着の

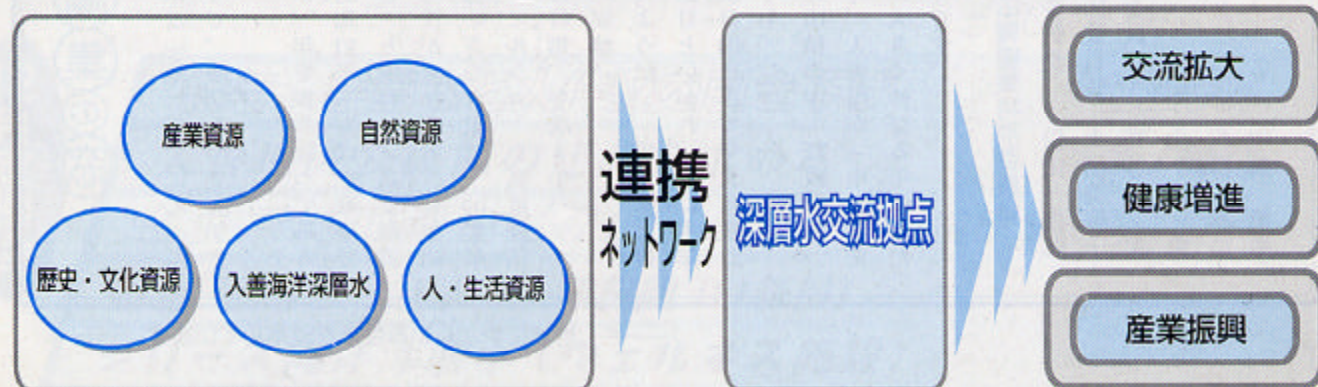
まま遊びの感覚で気軽に使えるようなスポーツ・レジャー型の体験施設を想定しています。

園家山キャンプ場を利用し、青少年を対象とした野外体験ゾーンと連携を図ったり、宇奈月温泉などを訪れる観光客を半日体験コースなどで積極的に取り込んだりするなど、漁村と都市住民の交流を活性化させていく必要があります。

また、全国で初の取り組みとなった深層水あわびや蓄養施設の魚介類を交流施設内にあるレストランや地場産品コーナーで入善漁協と連携しながら販売提供もする予定です。

整備する施設は、「運動体験ゾーン」を核にして、「くつろぎゾーン（地産地消ゾーンと休憩ゾーン）」と「学習体験ゾーン」がある複合施設とする予定です。

この施設の建設予定地としては、深層水パーク及び園家山周辺が候補になっています。具体的な施設規模や建設費については今後策定することになる「基本計画」に盛り込む予定にしています。皆さんのご意見などをお聞かせください。



議会だより入善

# 今はここがふるさと

入善町に移り住んで

青木 松田 俊男

(秋田県出身)



雪深い秋田の山里を離れてから30年余り、結婚して入善町に住んで18年になります。若い頃は農業が嫌いでもやることが全くなく、親にも妻にも心配をかけていました。

今では110アールの田畑を耕しながら、会社勤めをしています。見よう見真似で農業をやってきましたが、農業経営はいつも厳しい現状に立たされ、今まで以上に工夫と努力が必要です。これからも腹を引き締めて農業にも取り組んでいきます。

結婚した当初は地域との交流も家族まかせで、自分は交わろうとはしませんでした。子供は現在高校生の男2人、中学生の女1人の3人に恵まれました。学校の行事やPTAの役員として活動するなかで、どんどん溶け込むことが

できました。それとともに地区の行事にも参加し、地区役員を引き受けて各家を訪問したりで近所や地区との交流も深まってきました。近くを8号線バイパスが通ることになり建設工事も着々と進み、ますます生活範囲も広がり便利になります。自然環境も良く、前を見れば海、遠くには能登半島が見え、後ろを見れば、雄大な立山連峰がそびえたち素晴らしい絶景です。

朝起きてまず山を見、そして海を見る。季節によって様々に変化する海に山、見とれているうちに月日が流れ、今は生まれ育った秋田より入善町の方が、自分にとっての故郷なのだと思うようになりました。

## 飯野地区

### 相生の松

神子沢の諏訪社に、数百年たった老松がありました。根もとから六メートルのところで、雄松・雌松にわかれ、おとな三人でもかかえきれないほどの大木でした。

昭和二十年ごろまで、古い立札がありました。それは、つぎのようを歌が書いてありました。

相生の松に契りし主や誰  
呼べど答えず 神子沢の森

(よみ人しらす)

終戦後まもなく、台風のため、たおれてしまいました。富山の吉原旅館のいい部屋の天井板に、その木が使っているといわれます。また、この松のことを「源義経鎧かけの松」とも呼んでいました。



神子沢の諏訪社

## 編集の窓

今年「申」年。にんべんをつけて、伸びる年であります。

「申」年を振り返ってみると、昭和31年「もはや戦後ではない」と謳われ、高度経済成長時代がスタート、43年昭和元禄いざなぎ景気、55年第二次オイルショック高度経済成長の終焉、平成4年バブル経済の崩壊。

このように、「申」年は景気の節目といわれ、特に本年は、易卦的にみて一大転機だそうです。

課題山積の中「行政改革」を進め、入善町が「申」年を機会に大きく伸びる年にしたいものです。

### 議会広報編集特別委員会

- |      |       |
|------|-------|
| 委員長  | 松田 俊弘 |
| 副委員長 | 大橋美椰子 |
| 委員   | 長谷 友義 |
| 委員   | 山下 勇  |
| 委員   | 松澤 孝浩 |
| 委員   | 中瀬 範幸 |

地球にやさしい再生紙を使用しています